**おっしゃられるという言葉の正しい敬語の使い方**

何気なく話している敬語の中には失礼にあたるフレーズもあるので注意

毎日使っている敬語のなかには、実は間違った使われ方をしている言葉もあります。普段何気なくビジネスシーンで話している言葉の中には、「失礼にあたるフレーズ」もあるため、注意をしておく事が大切です。打ち合わせやミーティングなどで適切な敬語を使う事は社会人としての常識。改めて、きちんと理解しておく事が大切です。

「ご苦労さま」や「おっしゃられる」は目上の人に使うと失礼になる表現

ありがちな間違い敬語のひとつに「ご苦労さま」という言葉があります。ご苦労さまとは目上の人が目下の人をねぎらう言葉です。そのため、外周りから帰ってきた上司に対して使うのは、明らかなマナー違反です。同じように「おっしゃられる」も一見、聞こえがいい敬語に思われがちですが、実は間違いです。「おっしゃられる」とは二重敬語になるため、かえって失礼にあたるフレーズです。

二重敬語は使う事でかえって失礼な印象を与えるので注意

二重敬語とは二つの敬語が重なったものです。本来、敬語はシンプルに一つの言葉で表すもの。丁寧すぎる言葉を使う事によって、かえって失礼な印象を相手に与えてしまう事があるので気を付けておきましょう。「おっしゃられる」とは「おっしゃる」と「れる」の敬語が二つもミックスされているので、バツになります。一見、普通に思われる言葉であっても、文字に直す事によって間違いを発見する事ができます。

「話す」の敬語はシンプルに「おっしゃる」を使う

もしどうしても「話す」という意味の敬語を使いたい場合には、「おっしゃられる」の代わりに、どのような言葉を選べば良いでしょうか。あまりハードに考えずに、この場合は「おっしゃる」とシンプルな言葉をセレクトするのがマルです。「田中さまがおっしゃったとおり～」などの言葉を使う事によって、洗練された印象の言葉になります。「話す」の敬語はビジネスシーンのなかでも頻繁に使われる言葉です。よく覚えておきましょう。

二重敬語で間違えやすいものには「お越しになる」と「ご覧になる」もある

「おっしゃられる」が二重敬語という事は、アタマの中で理解できたと思います。間違って使っているビジネスマンも意外に多いそうなので、改めておきましょう。「おっしゃられる」の二重敬語のほかにも、間違えやすい敬語はいくつかあります。「お越しになられる」も「お越しになる」と「れる」が重なっています。正しくは「お越しになる」です。「ご覧になられる」もバツ、正しくは「ご覧になる」です。

丁寧過ぎる言葉は二重敬語になっていないか注意する

「おっしゃられる」などの二重敬語を使わないように気をつける事は、社会人としての基本的なビジネスマナーを獲得する事に繋がります。一般的に誤っている敬語は「丁寧すぎる言葉の連続」です。語尾などに気を付けて、「過剰に丁寧なワードを重ねすぎていないか」と客観的に自分の言葉を見つめなおす姿勢がキーポイントです。ナチュラルな文面に気を配りましょう

「おっしゃられる」という言葉は二重敬語で正しくは「おっしゃる」を使おう

ミーティングのシーンなどでも頻繁に使われる「おっしゃられる」の敬語。正しい言葉に思えますが、実は「おっしゃられる」は「おっしゃる」と「れる」の二重敬語になり、誤った使い方です。二重敬語を使わないコツは、文面を気にし過ぎるあまり過剰に丁寧な言葉を重ねてしまう事にあります。相手の気持ちをくみ、失礼のない程度の言葉を使うように心掛けましょう。